

校長室通信

平成24年度 第17号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 10. 25

1 いよいよ二中祭

先日、後期がスタートしたと思ったら、もう明日から二中祭です。生徒達は9月から、スローガン「本気！ 衝撃！ 感激！ 我らが夢現の二中祭！」のもと、自分達の手作りの二中祭に真剣に取り組んできました。先輩達の築き上げてきた伝統の重みを感じながら、自分達の特色を如何に出していくか、3年生を中心に話し合い決定し実践してきました。いよいよその成果を披露する時となりました。生徒たちは、発表部、イベント部、クリエイティ部、装飾・広報部、企画部の5部門プラス合唱と頑張っています。毎日の活動の中で、朝に昼に放課後に学校中に響き渡る歌声は何とも言えず良いものです。歌声の溢れている学校って素晴らしいと思います。練習当初から比べると各学級とも数段進歩しており、当日は感動の歌声が体育館一杯に響きわたると確信しています。二中祭は、2日間にわたりますが、できるだけ多くの方にご来校いただき、生徒の各方面にわたる学習の成果をご覧になってもらいたいと思っています。

2 後期学級委員を任命

学級委員を中心にまとまって、活動力のある温かい学級づくりをお願いします。



第1学年	学級委員	第2学年	学級委員	第3学年	学級委員
1年1組		2年1組		3年1組	
1年2組		2年2組		3年2組	
1年3組		2年3組		3年3組	
1年4組		2年4組		3年4組	
1年5組		2年5組		3年5組	

みんなのために

がんばろう

みんながいるから

がんばれる



2年6組

※生徒名につきましては
配布しました校長室通信をご覧ください。

3 進路を考える高校入試説明会実施

10月16日(火)に、3年生と保護者対象の高校入試説明会を実施しました。今回は、県内の主な私立高校について、各担当の教員から入試の概要をパンフレット等を使用して説明しました。今後3年生は、11月1日からの三者面談を経て、受験する私立高校および県立高校を決定していくこととなります。

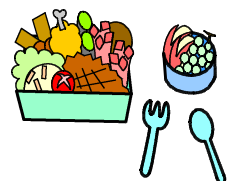
なお、県立高校入試においては、今年度までは現行の入試制度での実施となりますが、次年度(現2年生)からは、入試制度が変わりますので、情報の提供に努めて参ります。

4 10月30日は

自分で作るお弁当の日 お忘れなく

本校では、3年前よりお弁当の日を設定しています。現在、放送室の壁面に先生方が作った弁当の写真が掲示され、生徒達は思い思いにながめて研究しています。

保護者の皆様におかれましては、生徒の弁当づくりにご協力ください。食材の話をしたり、調理方法を話し合ったり、いろいろなアドバイスをしていただくなど、お子様とのコミュニケーションの機会としていただければ幸いです。



5 秋の俳句づくり 職員バージョン

秋の俳句づくりを行いました。9月下旬につくりましたので、職員・生徒とも初秋の作品が多く見られました。ここでは職員の作品を紹介します。生徒作品は、クラス事の配布とさせていただきます。

霜降りて ますます元気 ほうれん草 横島 清

遊歩道 落ち葉一面 黄金色 坂口 修

草紅葉 黄金色に輝く 遙かな尾瀬 秋山千恵子

亡き父と 野菊が笑う 墓の前 佐藤良作

十五夜に おくれて飾る すすきの穂 高橋 祐一

月明かり 虫の音響く 合唱団 宇都木怜子

幼子が 団栗ひろい 仲なおり 向縄勝代

我が見る 鶏頭の花 赤く燃え 塚原英子

秋が来て 生徒の足は 遠のけり 大嶋光子

少々の 決意を胸に 焚く門火 須藤 弘

いつの間に 季節を告げる 曼珠沙華 別井 渉

秋の空 刈田にひとり かかしかな 岡田親亮

藁塚と 大地の恵みの 伊王野路 佐藤明美

手を伸ばし バッタと跳ねる 子どもかな 設楽孝男

秋の風 縁側読書 缶ビール 倉井孝明

朝露に 花火がひびく 青い空 塩沢建樹

秋の田で 遊んだ昔 なつかしむ 秋山 実

干し柿や 乾燥具合に 親近感 星野友保

新米を 塩むすびにして もう1個 稲見雄太

月明かり 静かに流れる ドビュッシー 関 恵

虫の音や どこにいるのと 稚児さぐる 堀 美弥

残暑過ぎ ホットコーヒー ホットする 平塚克幸

三十度 期待を裏切る 虫の音よ 清水友晶

流れ星 澄み渡る空に 願い込め 桑原百代

二中祭 食べて歌えて 大騒ぎ 齊籐 聖雄

ワイパーに 止まりて笑う 赤トンボ 長谷川 諭

新米を ほおぼる君の 笑顔かな 工藤由樹

道影は 風にたなびき すすきかな 中山智史

深く濃く 輝く池塘 草紅葉 伊佐真梨子

嵐去り 満面の笑み 星月夜 初山佳睦

ひつじ雲 食べたくなるよ 四時間目 小貫あさみ

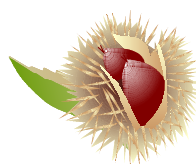
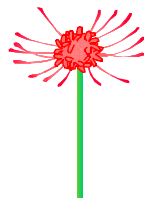
新そばと 温泉さして 夜がふける 川俣達夫

こおろぎが いざなう夜の 音楽会 佐藤洋子

秋晴れに 成長眩しい 鼓笛隊 五月女千恵子

台風で お月見なしの だんごかな 野口久美子

日暮れ急 見守り当番も 急ぎ足 廣中弘美



本当か嘘か分からない話

アメリカシロヒトリという害虫がいる。蛾の一種であり成虫の大きさは1cm程である。幼虫は、春先から夏にかけ、集団で葉を食い荒らす厄介者である。私が小学校の頃、丁度東京オリンピックが開催された頃に、日本にやってきたと記憶している。以来、街路樹や家庭の庭木など多くの木を食害してきた。ところが今年、我が家のアメリカシロヒトリの発生は0、周囲や学校でも発生を見ていません。

それについて友人が「そうなんだよ。雀などの鳥たちの間で食べられる虫として認識され、ようやく日本国中に広まったらしい。」と、おかしそうに話してくれました。また、「NHKでやったんだから間違いない。」とも言いました。人の話を信じやすい私は、「へえ、そうなんだ。食べられると分かるまでに50年もかかったんだ。自然の鳥は随分慎重だね。」と答えましたが、はたして、真相は如何に。